

大阪産業大学 デザイン工学部

環境理工学科 設置記念講演会

2016年

11月19日 土 13:00～14:50

大阪産業大学16号館6階16606教室
申し込み不要・参加無料

■ はじめに

13:00～13:10

環境理工学科の概要説明

前迫 ゆり

大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科教授(2017年4月予定)
大阪産業大学人間環境学部生活環境学科教授・学科主任(現所属)

第1部

13:15～14:00

「宇宙環境の激変期を
すばるとアルマで探ってみると」

井上 昭雄

大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科准教授(2017年4月予定)
大阪産業大学教養部准教授(現所属)



第2部

14:05～14:50

「地下から見る太陽と地球環境」

裕 隆太

大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科准教授(2017年4月予定)
大阪産業大学人間環境学部生活環境学科准教授(現所属)



〔問い合わせ〕 大阪産業大学 研究推進課

TEL:072-875-3001 FAX:072-875-6551

〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1

2017年度新設予定の大阪産業大学

デザイン工学部環境理工学科の設置を記念した講演会です。

現代において、我々を取り巻く環境問題はきわめて多様化しています。人と自然が共生する持続可能な社会をデザインする人材の育成をめざして、環境理工学科は2017年4月に新たなスタートを切ります。本学科では、地球環境科学、健全な生態系の保全、水、大気および土壌の環境改善、持続可能な社会のしくみづくりを考究し、理学および工学に立脚した環境学の体系を総合的に教育研究します。このたび、講演いたします本学科准教授と井上准教授は、地球環境科学の研究で顕著な功績をあげました。最先端のサイエンス研究をお楽しみいただければ幸いです。

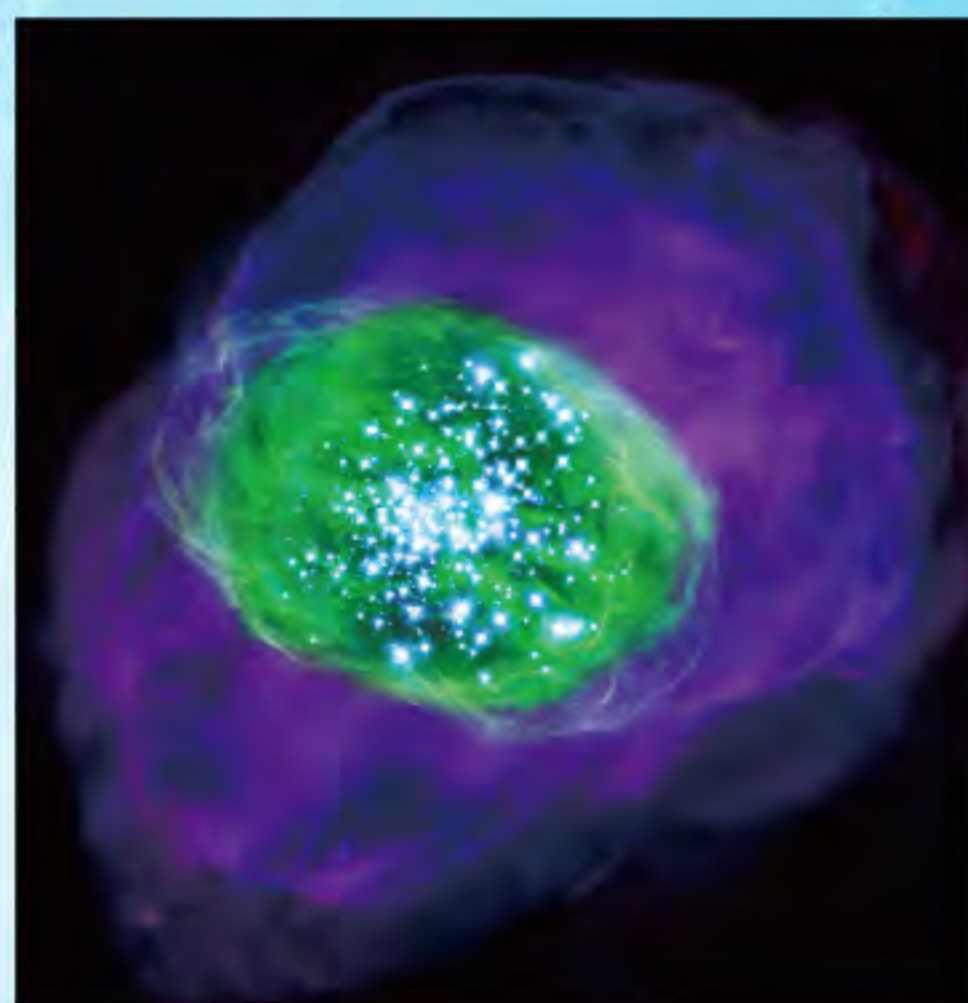
第1部

宇宙環境の激変期を すばるとアルマで探ってみると

井上 昭雄 (専門:天文学)

ビッグバンからおよそ10億年が経ったころ、宇宙環境が激変したイベント「宇宙再電離」が起こりました。この時期に、宇宙で最初の天体や銀河が生まれ、それと並行して、身近な元素である酸素も生まれたと考えられています。2012年、そんな時代の宇宙にある一つの銀河がすばる望遠鏡で見つかりました。そして今年、その銀河に酸素があることをアルマ望遠鏡で突き止めました。この発見が意味することをやさしく解説します。

アルマ望遠鏡による研究成果が2016年発行国際雑誌『Science』に掲載



©国立天文台

第2部

地下から見る太陽と地球環境

裕 隆太 (専門:放射線物理,地球環境,宇宙線)

太陽は生命を育み有史以来、人類の生活様式とも密接に関係してきました。ただ、その源である太陽エネルギーに関して過去30年以上にわたる“太陽ニュートリノ問題”が存在し、将来、大氷河期が来る可能性があり研究者を悩ませてきましたが、地下から太陽を眺めることにより人類は太陽中心温度を1%以下の高精度で測定することが可能になり、太陽内部での核反応を理解するに至りました。2015年度ノーベル物理学賞に繋がった成果の一端を紹介出来れば幸いです。

ニュートリノ振動の研究成果で2016年基礎物理学ブレークスルー賞受賞

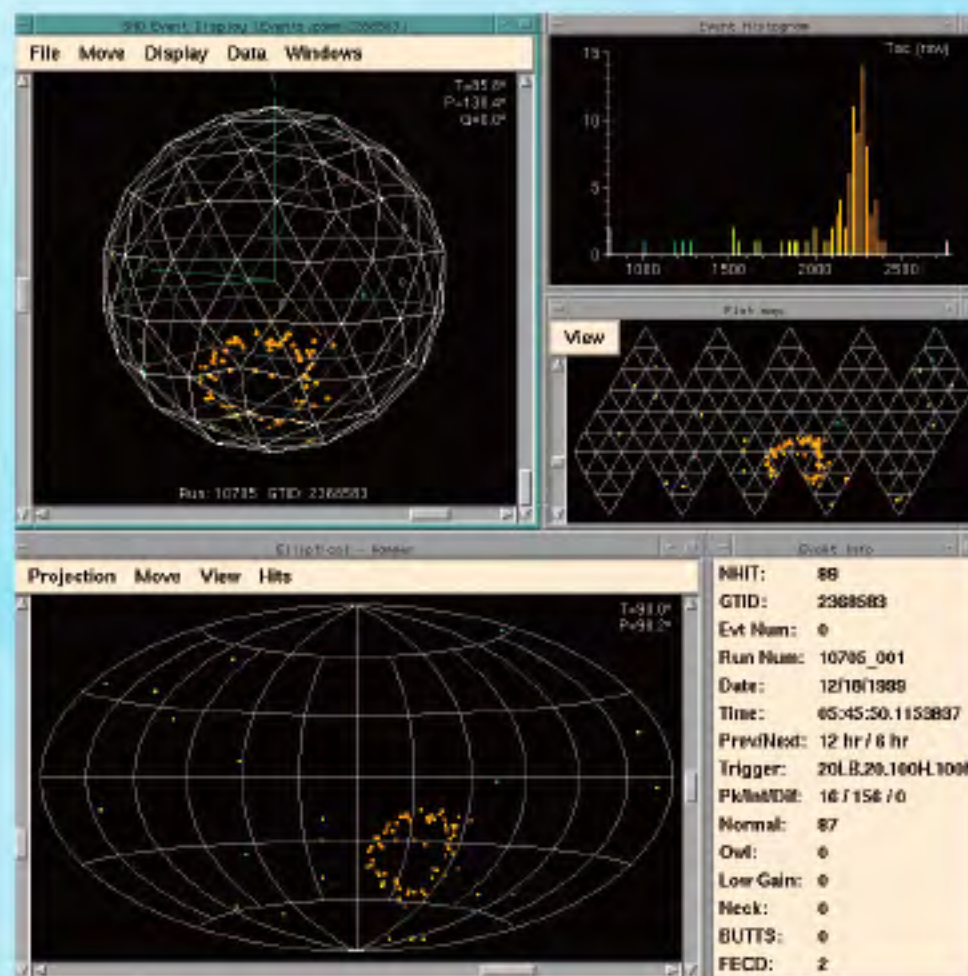
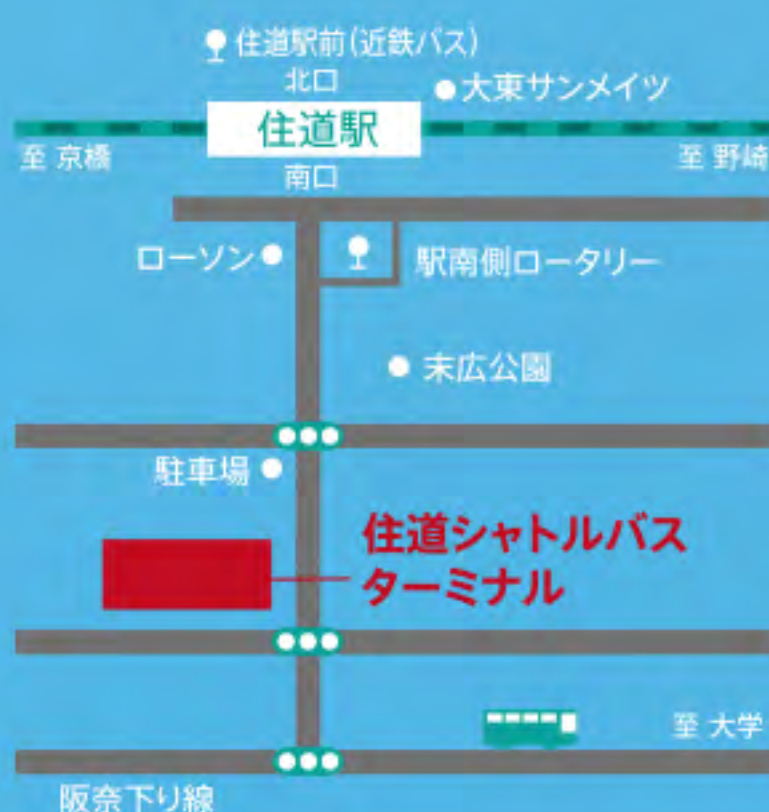


Photo courtesy of SNO

ACCESS

※お車でのご来校はご遠慮下さい。



- JR学研都市線「住道」駅下車、駅南側の大学専用シャトルバスターミナルから大学直通バスで約15分。
※大学専用シャトルバスにご乗車の際、乗務員に「記念講演会に参加」とお伝え下さい。
※シャトルバス時刻表は、大学ホームページ「交通アクセス」からご確認下さい。

[大阪産業大学ホームページ]
<http://www.osaka-sandai.ac.jp/>

- JR学研都市線「野崎」駅下車、南へ徒歩約15分。